

(1) 概要

調査対象：2025年10月1日現在で住民基本台帳に登録している市内在住の18歳以上の外国人住民2,125人

調査時期：2025年11月

調査方法：郵送及びwebによる方法

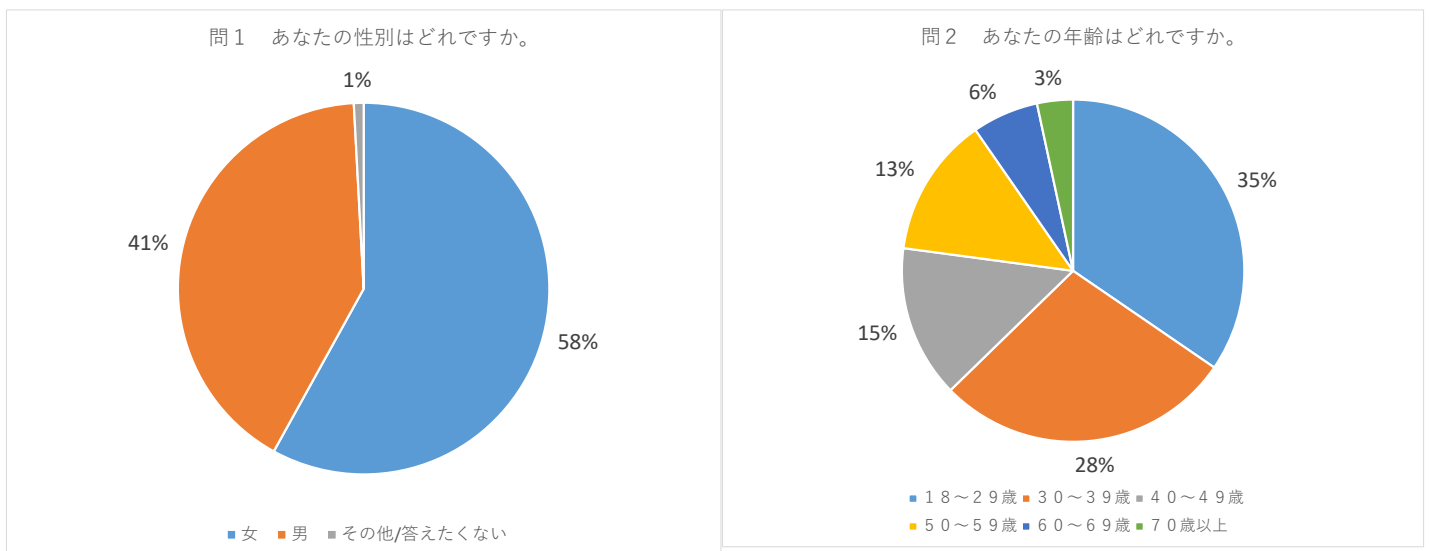
回収数（率）：519人（24.4%）

(2) 結果

①基本属性

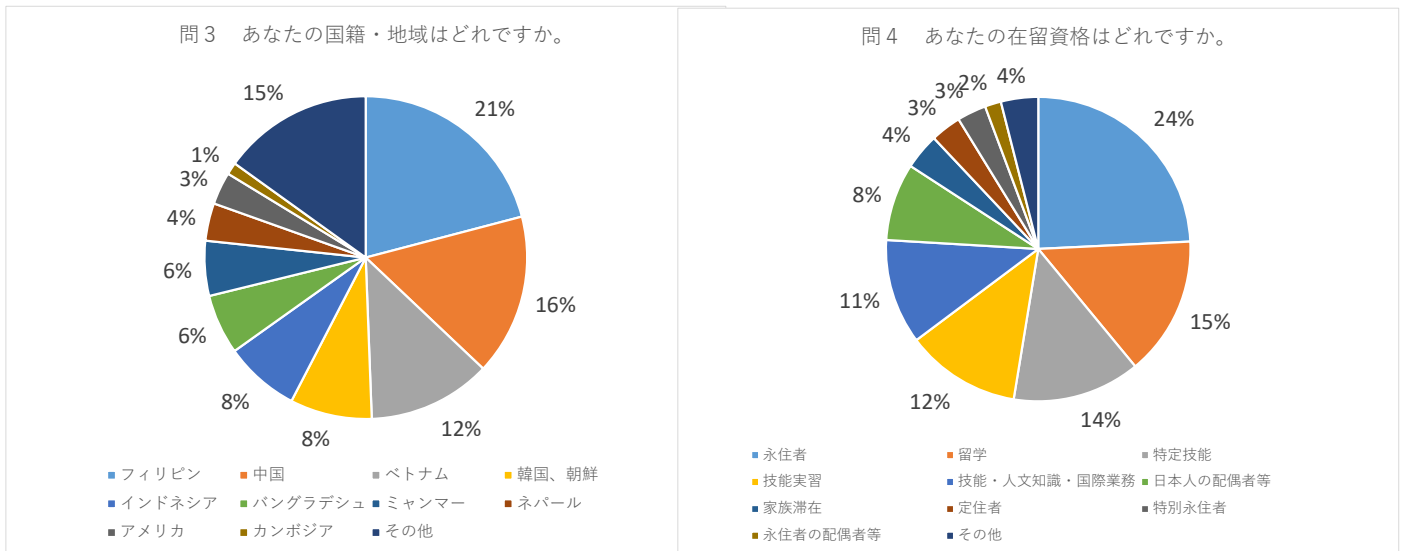
回答者の性別構成をみると、「男性」が58%、「女性」が41%で、男性が17ポイント上回っています。

年齢別構成をみると「18～29歳」が35%と最も多く、次いで「30～39歳」が28%で、回答者数の半数以上（63%）を占めています。

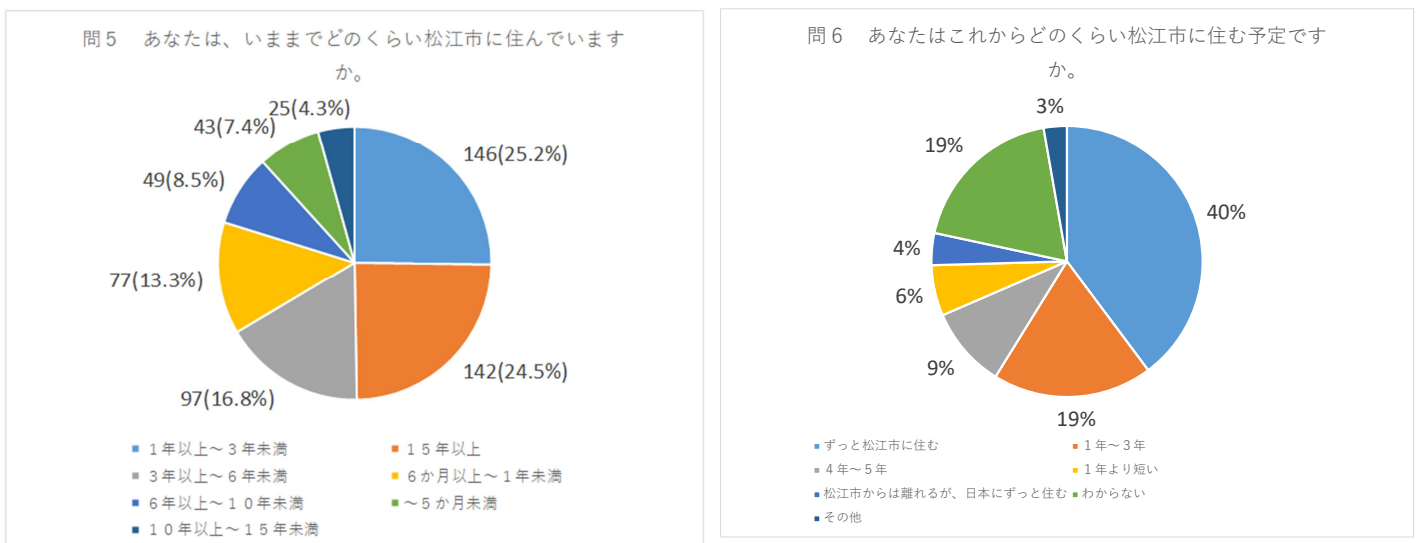


国籍・地域別割合をみると、「フィリピン」が21%で最も多く、次いで「中国」16%、「ベトナム」12%となりました。

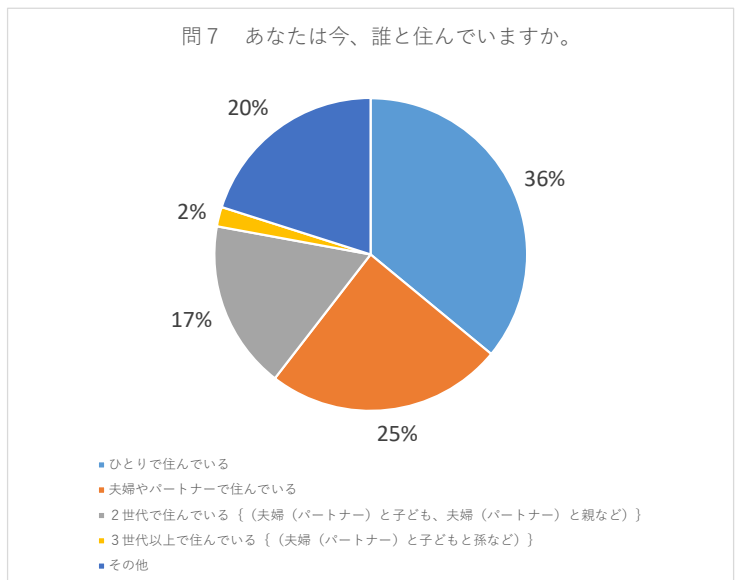
在留資格別の割合をみると、「永住者」が24%、「留学」15%、「特定技能」14%、「技能実習」12%、「技術・人文知識・国際業務」11%で、これら5区分の在留資格で回答者の76%を占めています。



松江市での居住期間をみると、3年以上松江市に居住している外国人住民は、回答者総数の55%でした。また、「1か月～3年未満」と比較的短期居住期間の割合も45%でした。これからどのくらい松江市に住む予定かをみると、「ずっと住む」が40%で最も多く、ついで「1～3年」が19%、「わからない」も19%でした。



誰と住んでいるかについては、「一人で住んでいる」が36%で最も多く、次いで「夫婦やパートナーと住んでいる」が25%でした。パートナーを含む家族で住んでいるのは回答者数全体の42%でした。



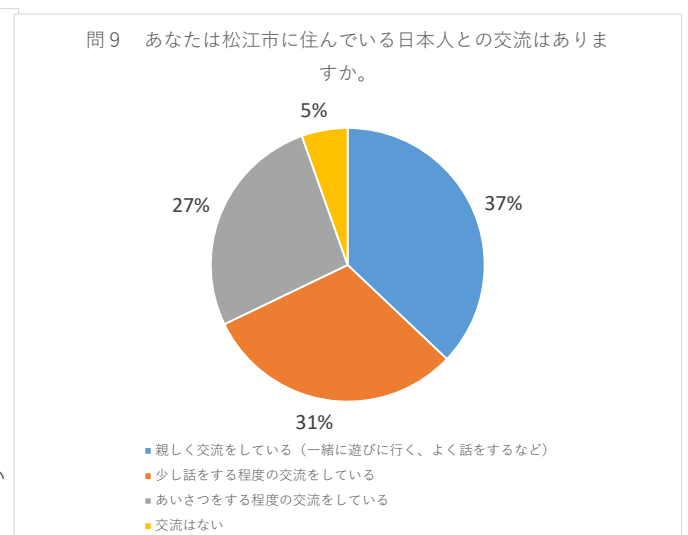
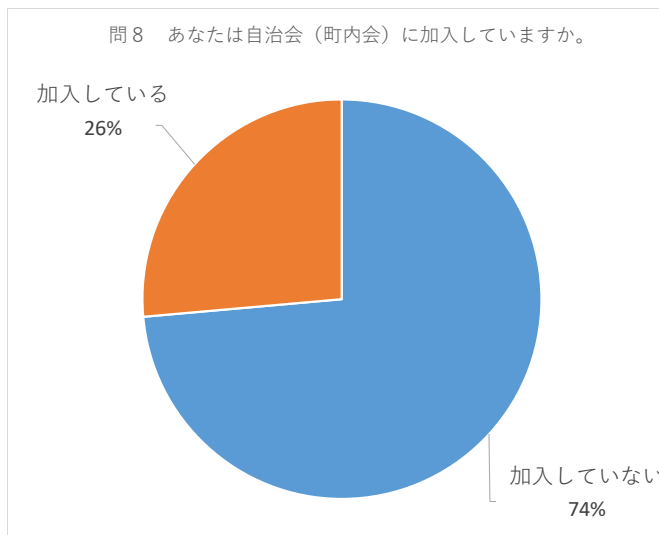
②日本人との交流について

自治会に「加入している」が26%、「加入していない」が74%でした。前回の調査では「加入している」が22%で、加入者が増えています。

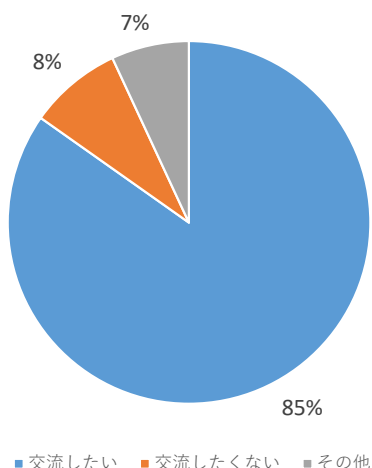
近隣の日本人との交流については、「親しく交流している」が37%、「少し話しをする程度」が31%、「あいさつをする程度」が27%で、回答者の95%が何らかのかかわりを持っています。前回の調査では、8割程度でしたので、関りが増えています。

日本人と交流がしたいかという質問については、「したい」が85%でした。

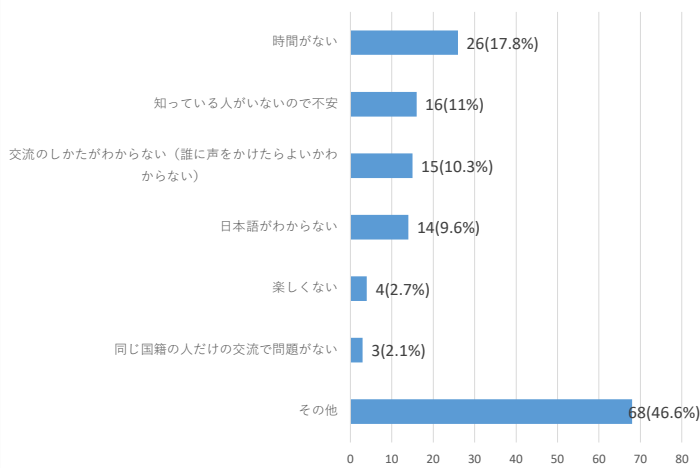
また、交流がしたくない理由については、「時間がない」が17.8%、「知っている人がなくて不安」が11%、「交流のしかたがわからない」が10.3%、「日本語がわからない」9.6%、そのほか意見として、「知らない人と会話すると精神が疲れる」、「楽しくない」、「一人でいるのが好き」など意見がありました。



問10 あなたは松江市に住んでいる日本人と交流がしたいですか。



問11 問10で「交流したくない」と答えた人に聞きます。交流したくないのはなぜですか。

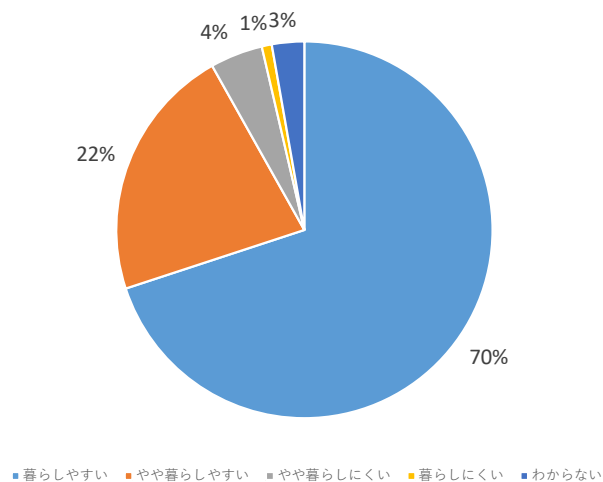


③住みやすさについて

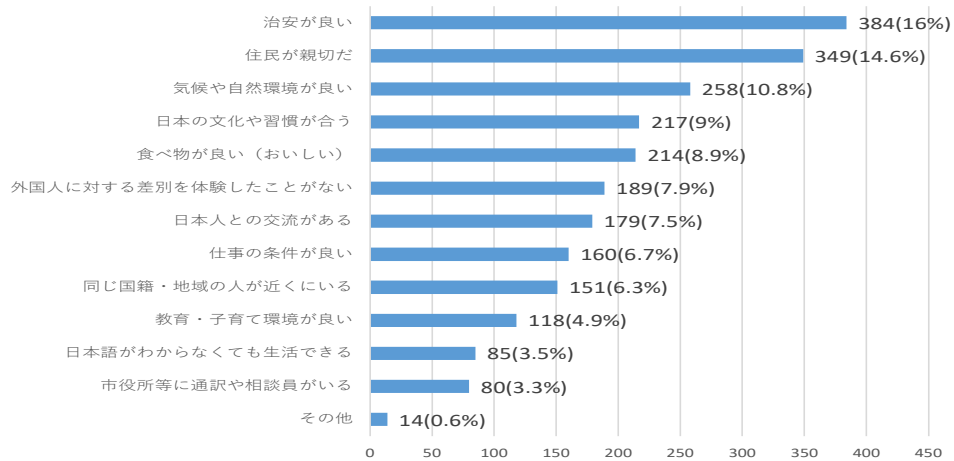
「松江市に暮らしやすい」が70%、「やや暮らしやすい」が22%で、回答者の92%が暮らしやすいと感じている。

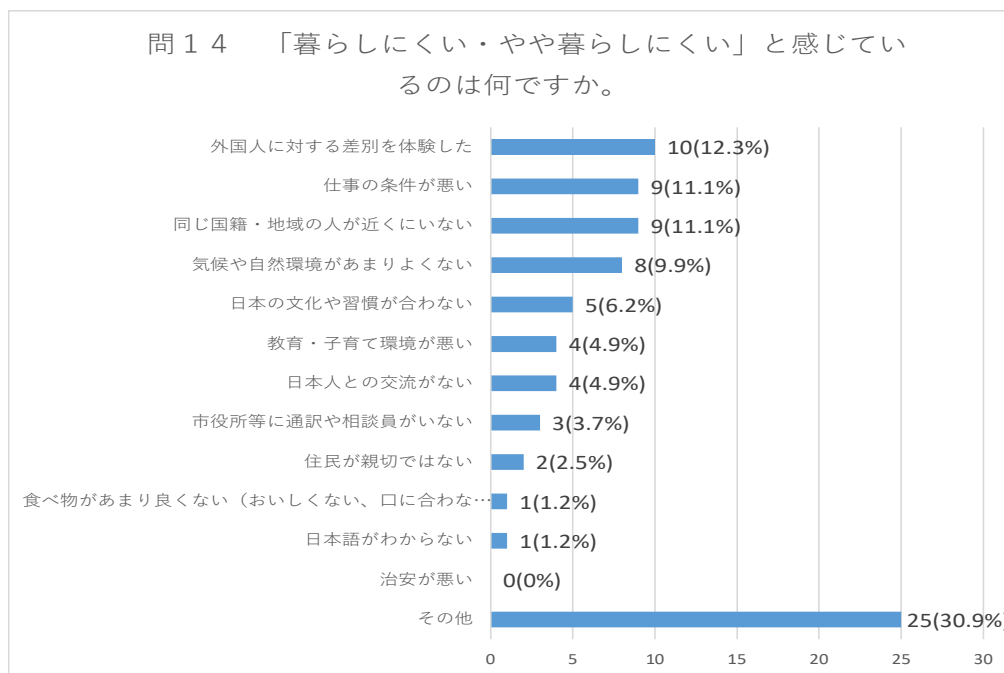
「やや暮らしにくい」、「暮らしにくい」と回答した人の理由は、「外国人に対する差別を感じた」が12.3%、「仕事の条件が悪い」が11.1%、「同じ国籍・地域の人がない」が11.1%でした。

問12 松江市は暮らしやすいですか。



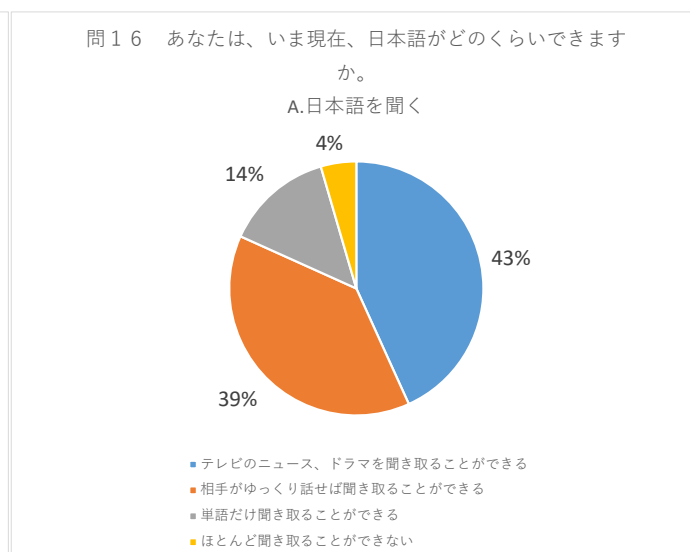
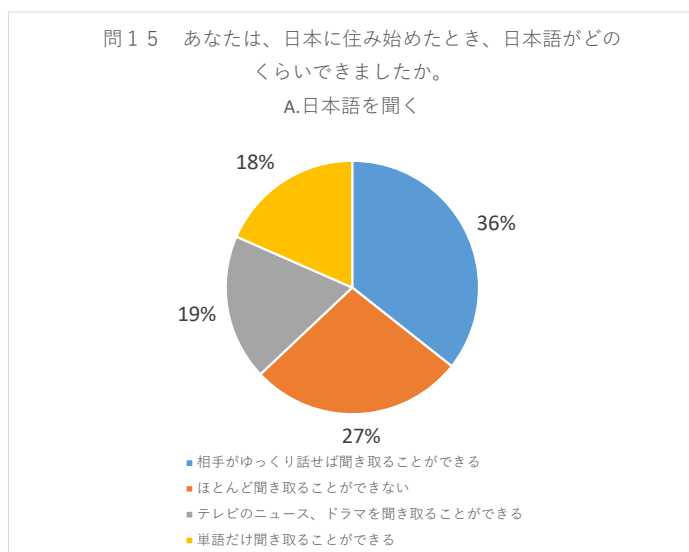
問13 「暮らしやすい、やや暮らしやすい」と感じているのは何ですか。



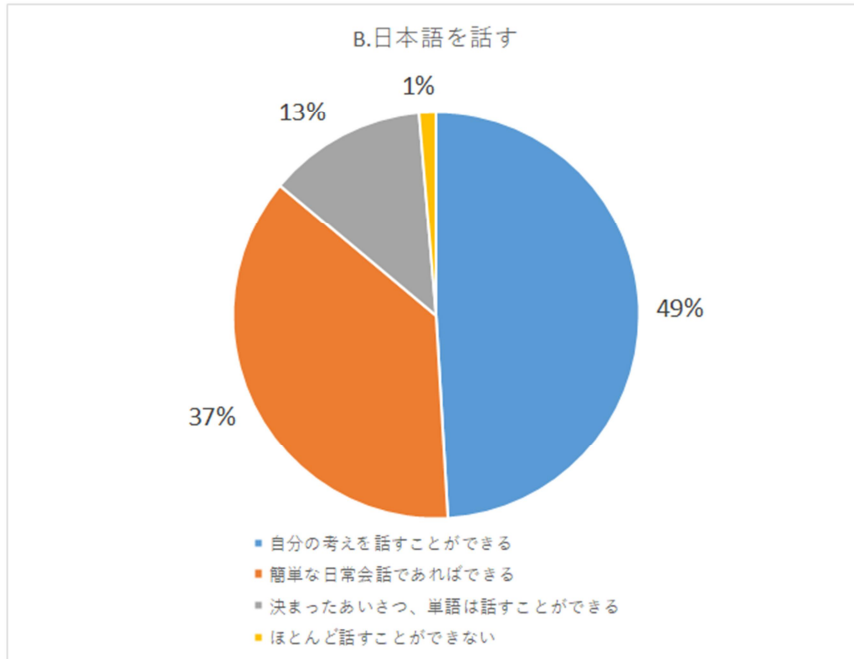


④日本語について

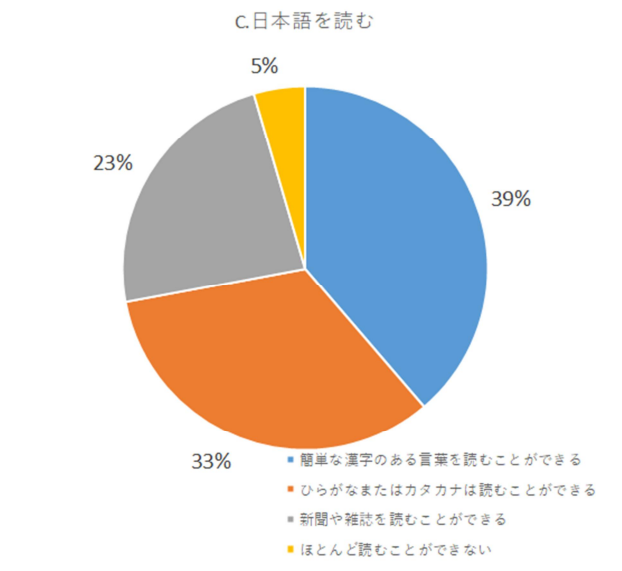
来日した際の日本語能力について、「相手がゆっくり話せば聞き取れる」が36%、「ほとんど聞き取ることができない」が27%、「テレビのニュース、ドラマを聞き取ることができる」が19%、「単語だけ聞き取れる」が18%でした。また、今現在の日本語能力については、「テレビのニュース、ドラマを聞き取ることができる」が43%、「相手がゆっくり話せば聞き取れる」が39%、「単語だけ聞き取れる」が14%、「ほとんど聞き取ることができない」が4%でした。



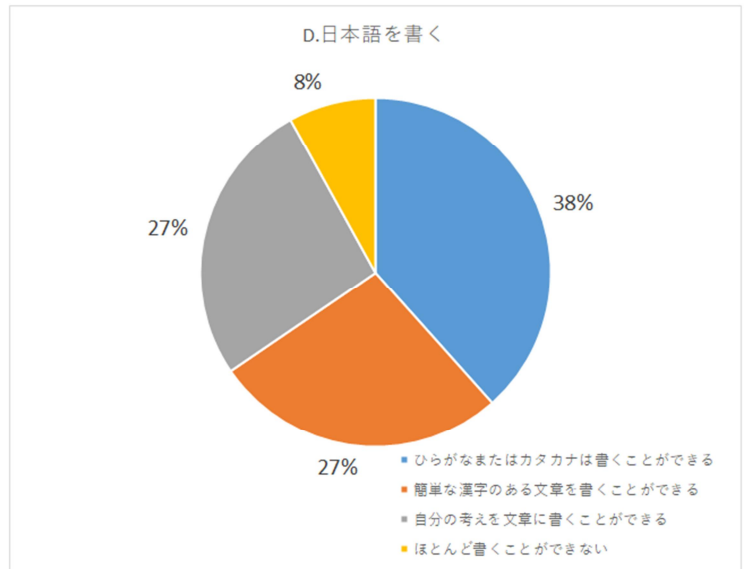
日本語を話す能力については、「自分の考えを話すことができる」49%、「簡単な日常会話ができる」が37%でした。一方で「ほとんど話すことができない」が1%でした。回答者の86%の人が日本語で意思表示ができます。



日本語を読む能力については、「簡単な漢字のある言葉を読むことができる」39%、「ひらがなまたはカタカナを読むことができる」が33%、「新聞や雑誌を読むことができる」が23%でした。一方で「ほとんど読むことができない」が5%でした。回答者の95%の人が簡単な日本語を読むことができます。

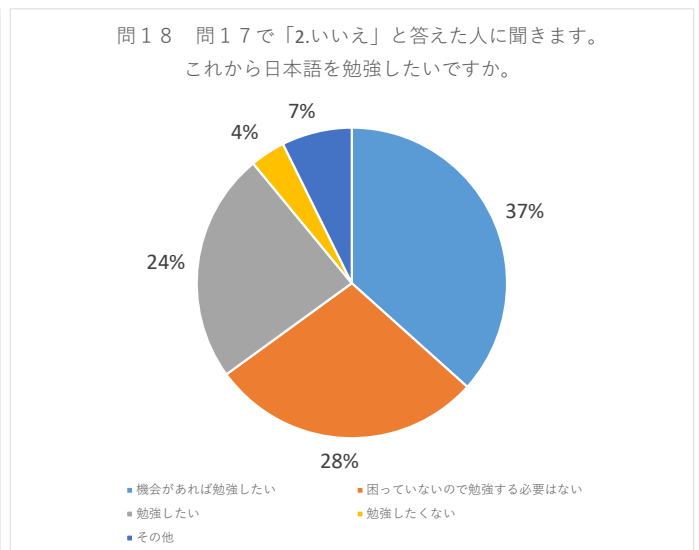
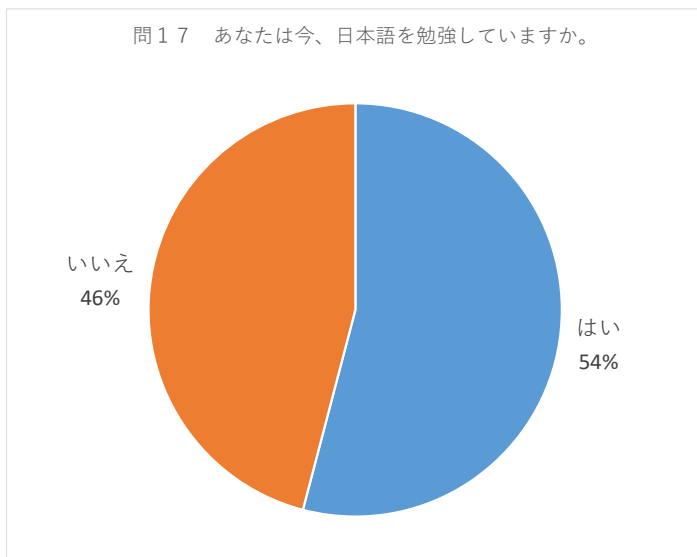


日本語を書く能力については、「ひらがなまたはカタカナを書くことができる」が38%、「簡単な漢字のある文章を書くことができる」27%、「自分の考えを文章に書くことができる」が27%でした。一方で「ほとんど書くことができない」が8%でした。回答者の54%の人が簡単な日本語を書くことができます。



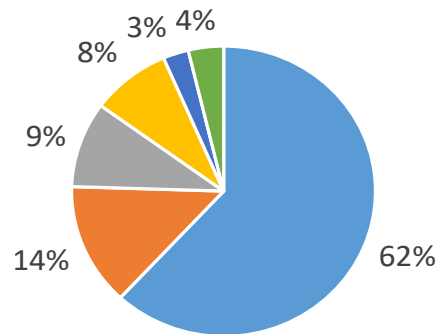
⑤日本語学習について

日本語を「勉強していない」は46%でした。勉強をしていない人で日本語を勉強したかについて、「機会があれば勉強したい」が37%、「困っていないので勉強する必要がない」が28%、「勉強したい」が24%、「勉強したくない」が4%でした。



日本語を勉強する機会を望んでいる人の中で、勉強をしていない理由は、「忙しくて時間がない」が62%、「日本語教室など日本語を勉強できる場所を知らない、教室に行く方法がない」が14%、「どうやって勉強したらいいかわからない」が8%でした。

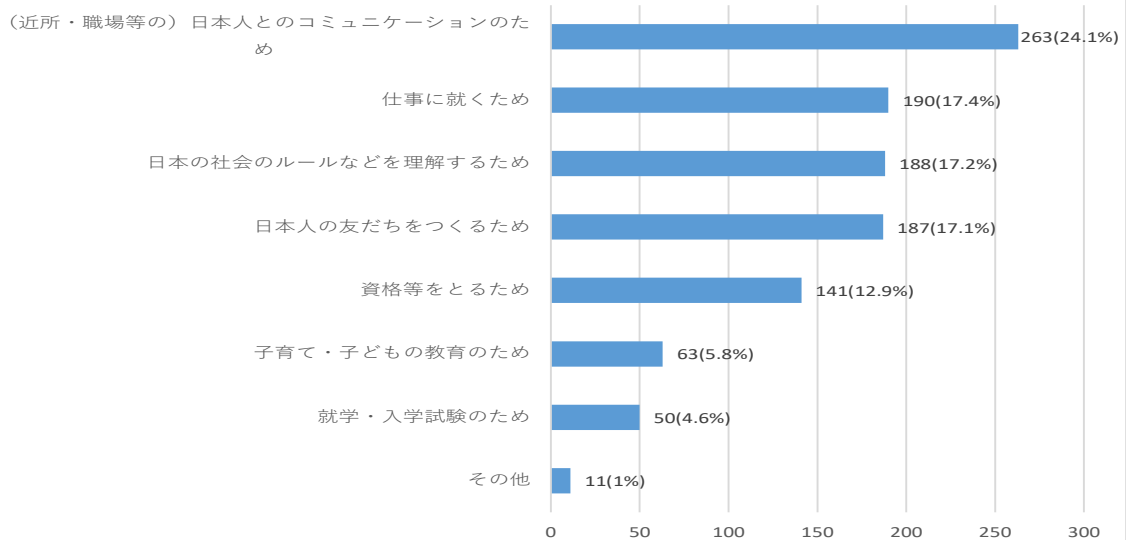
問19 問18で「1.勉強したい」「2.機会があれば勉強したい」と答えた人に聞きます。今、日本語を勉強していないのはなぜですか。



- 忙しくて時間がない
- 日本語教室など日本語を勉強できる場所を知らない、教室へ行く方法がない
- 日本語教室や学習支援の時間が合わない
- どうやって勉強したらいいかわからない
- 日本語教室や学習支援の教え方や内容、レベルが合わない
- その他

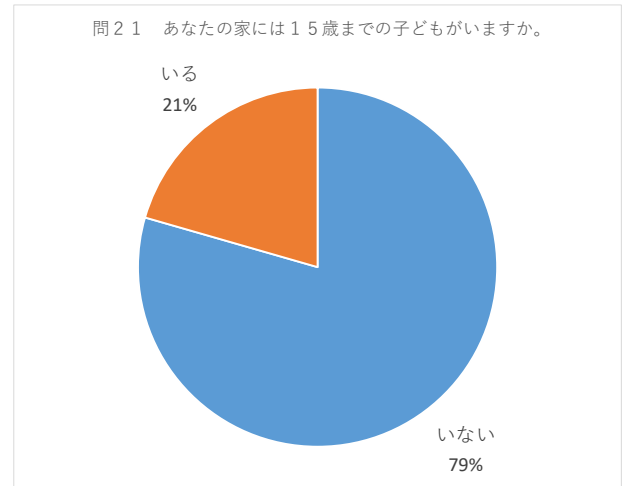
日本語学習する人の中で、学習目的や目標について、「日本人とのコミュニケーションのため」が24.1%、「仕事に就くため」が17.4%、「日本の社会のルールなどをりかいするため」が17.2%、「日本人の友だちをつくるため」が17.1%でした。

問20 問17で「はい」と答えた人に聞きます。あなたが日本語を学ぶ目的・目標は何ですか。

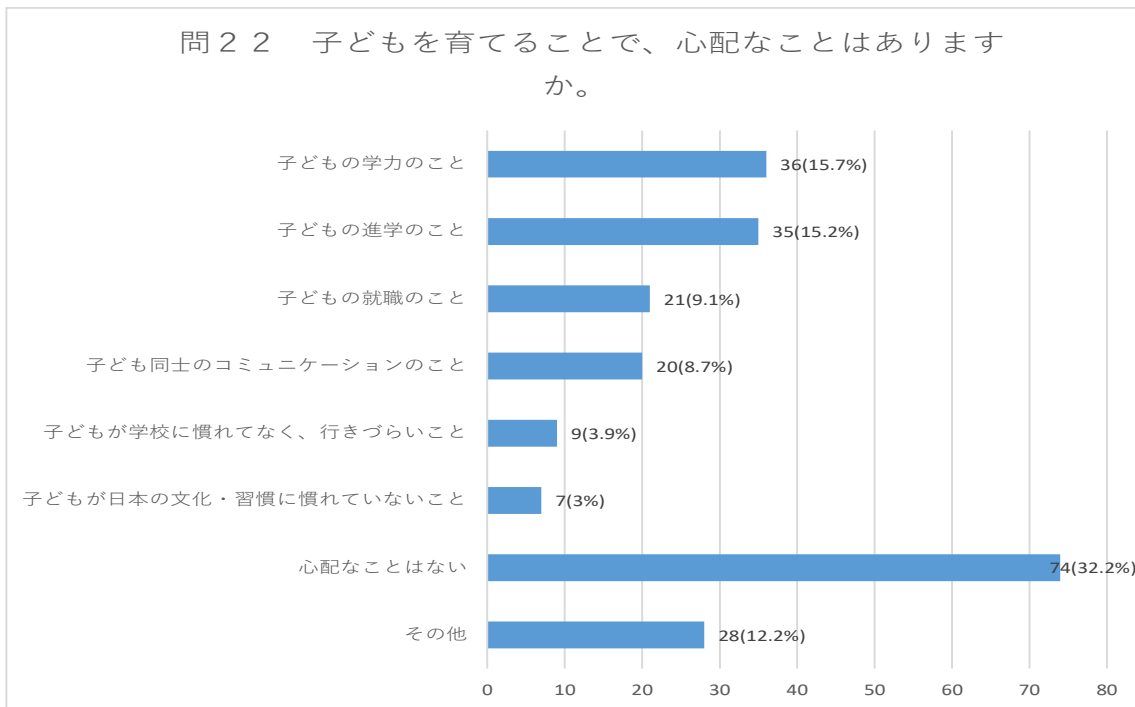


⑤子育てについて

15歳までの子どもについて「いる」が21%でした。

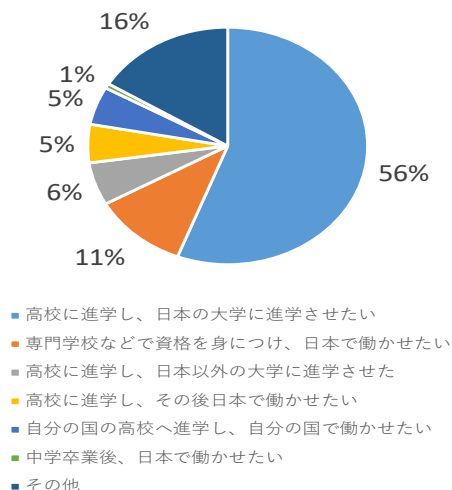


子育てで心配なことについては、「心配ない」が32.2%、「学力のこと」が15.7%、「進学のこと」が15.2%でした。



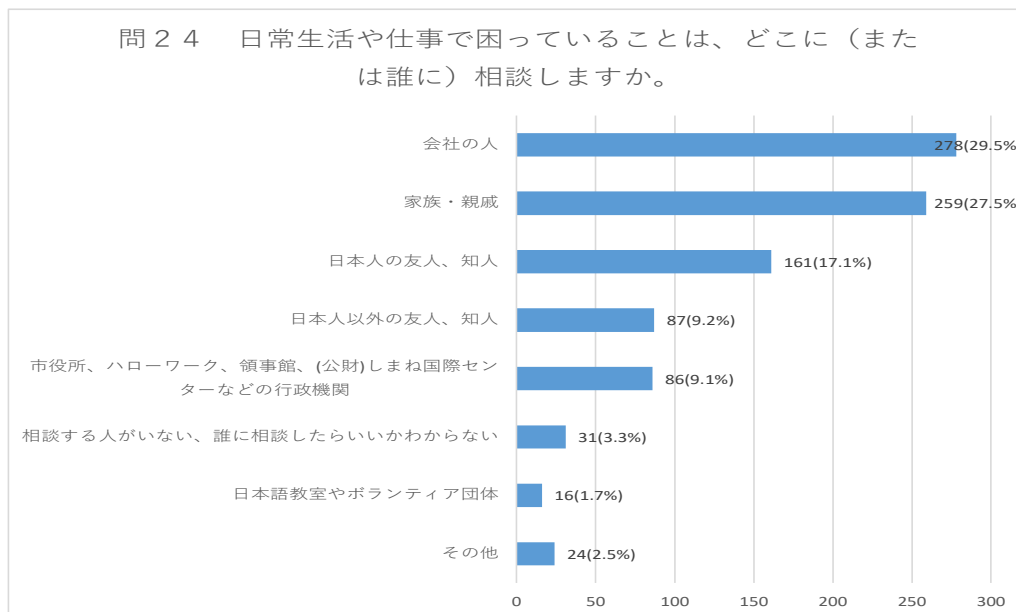
中学卒業後の進路について、「日本の大学進学」が56%、「専門学校に進学して就職」が11%、「日本以外の大学進学」が6%でした。回答者のうち83%が高校進学を望んでいます。

問 2 3 中学校卒業後の進路について、どのように考えていますか。



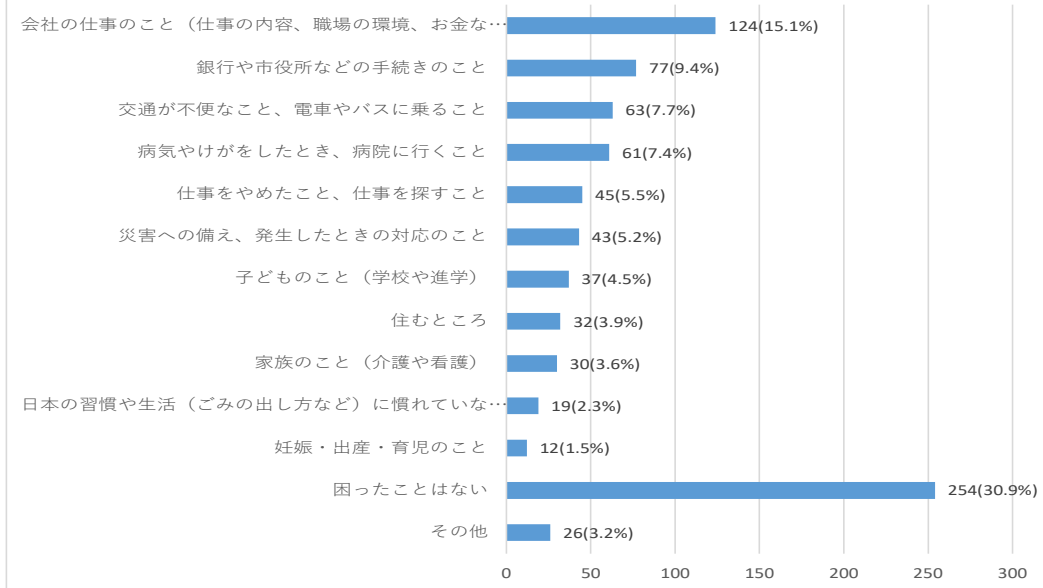
⑤困りごとについて

困りごとの相談場所について、「会社の人」が29.5%、「家族・親戚」が27.5%、「日本人の友人・知人」が17.1%でした。一方で、「相談する人がいない、分からない」が3.3%でした。



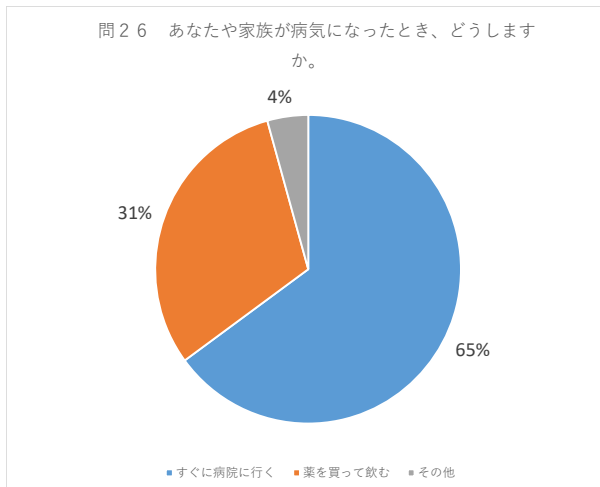
困りごとの内容について、「仕事のこと」が15.1%、「銀行や市役所の手続き」が9.4%、「公共交通機関に関すること」が7.7%、「病気やけがについて」が7.4%でした。一方で、「困りごとがない」が30.9%でした。

問 2 5 あなたが今、困っていることは何ですか。



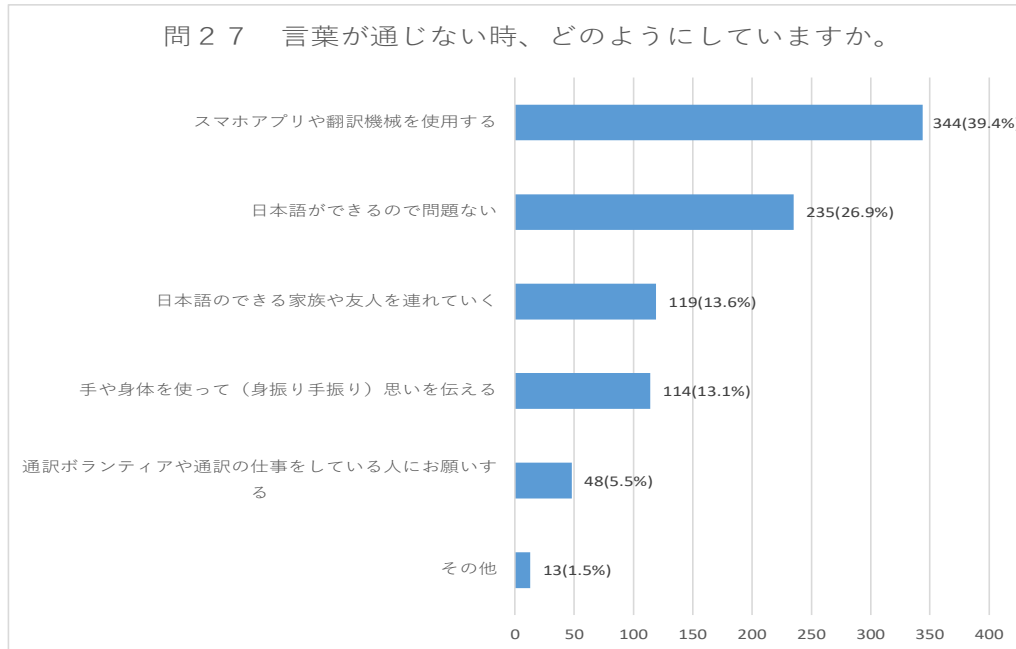
⑥病気になったときについて

「病院に行く」が65%、「薬を買う」が31%でした。



⑦言葉が通じないときについて

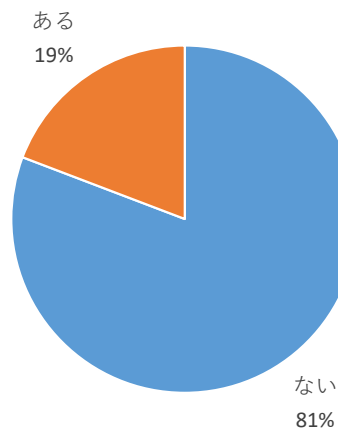
「翻訳アプリ」が39.4%、「日本語ができる友人・知人を連れて行く」が13.6%でした。「日本語ができるので問題ない」が26.9%でした。

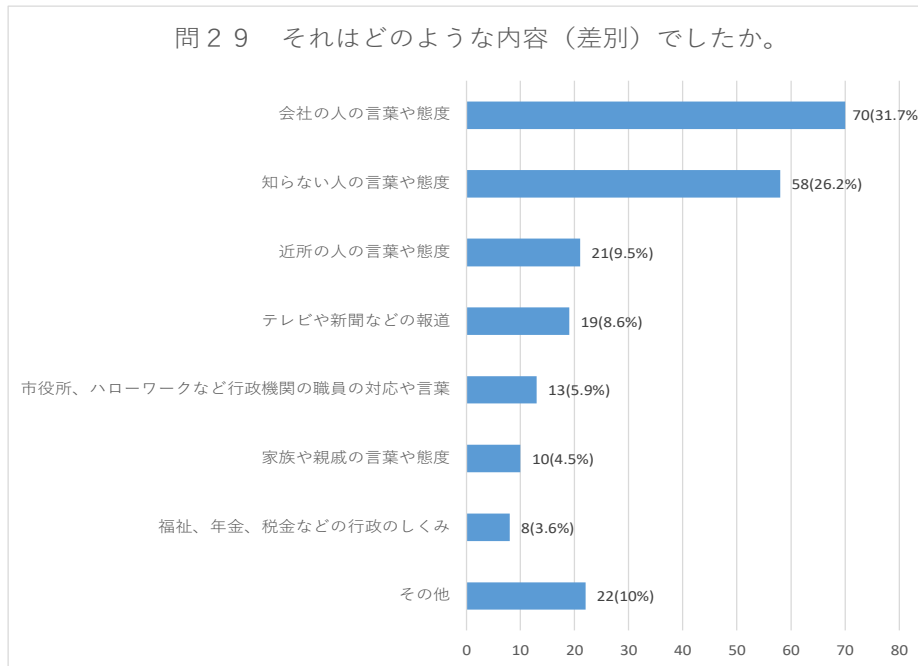


⑧差別や人権侵害について

「受けたことがある」が19.2%でした。差別や人権侵害の内容について、「会社の人の言葉や態度」が31.7%、「知らない人の言葉や態度」が26.2%でした。

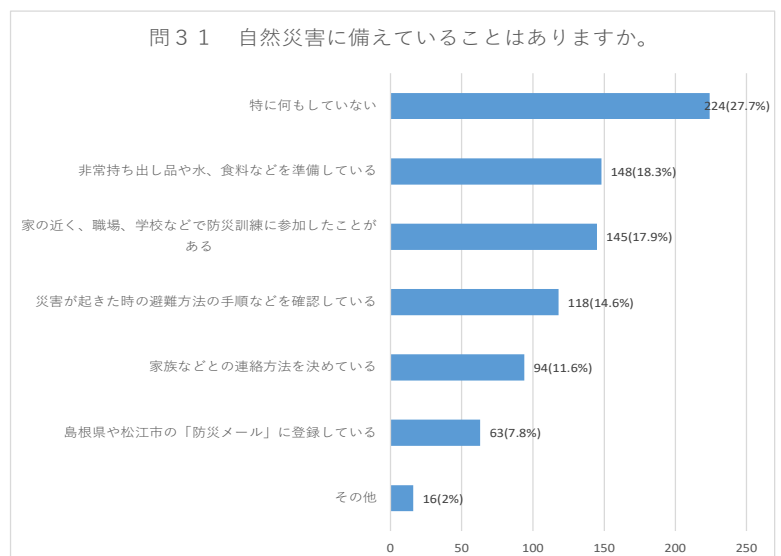
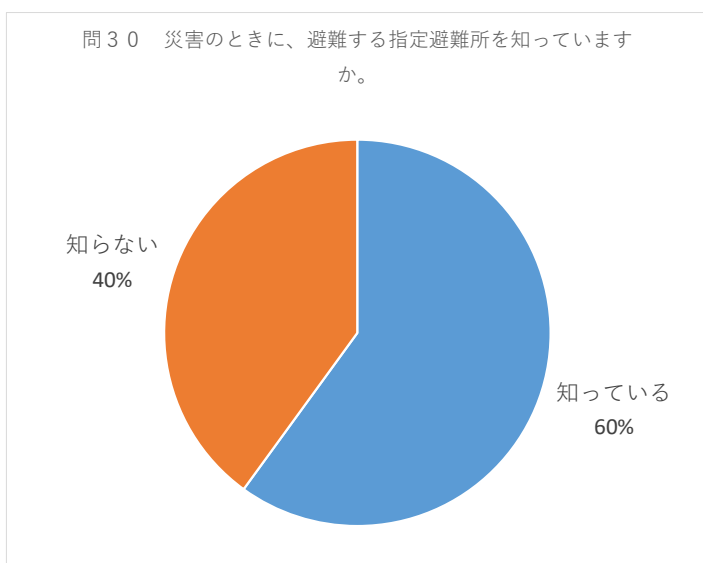
問28 外国人であることを理由に、差別や人権侵害（悪口を言われたり、仲間外れにされたこと）を受けたことがありますか。





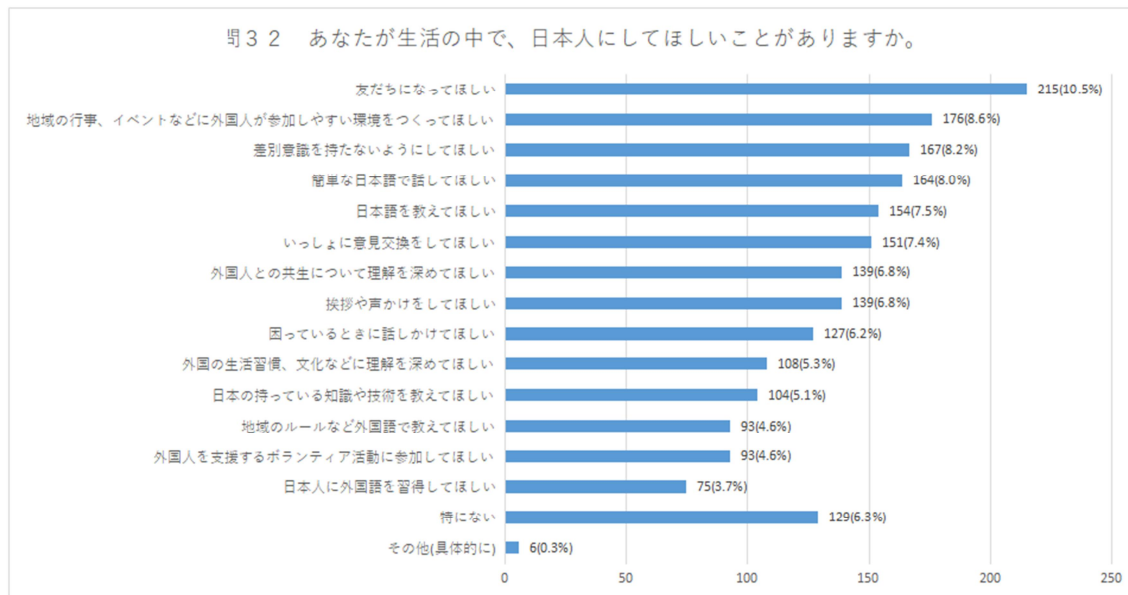
⑨災害について

避難所について「知っている」が60%でした。自然災害に備えていることについて、「何もしていない」が27.7%、「非常持ち出し袋などを準備している」が18.3%、「防災訓練に参加したことがある」が17.9%、「県や市の防災メールに登録している」が7.8%でした。



⑩日本人にして欲しいことについて

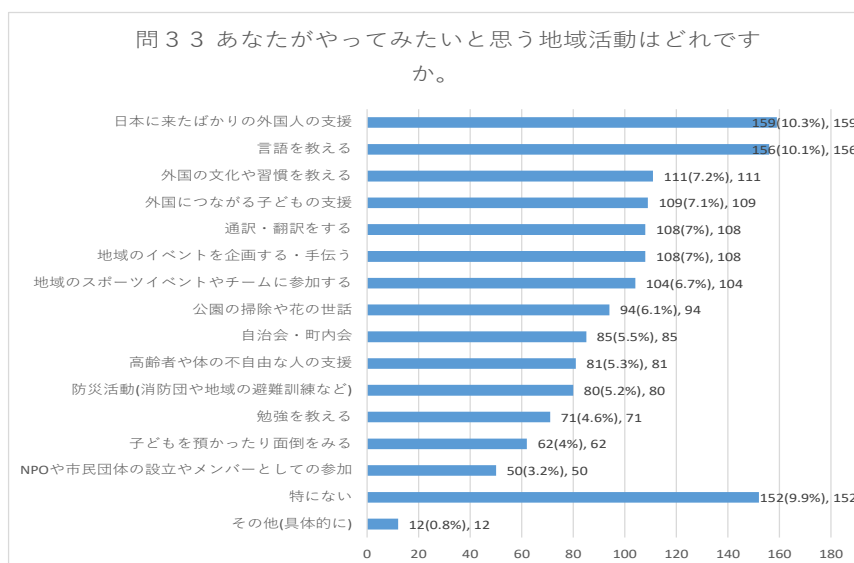
「友だちになって欲しい」が10.5%、「行事等に外国人が参加しやすい環境を作って欲しい」が8.6%、「差別意識を持たないようにして欲しい」が8.2%、「簡単な日本語で話して欲しい」が8.0%でした。

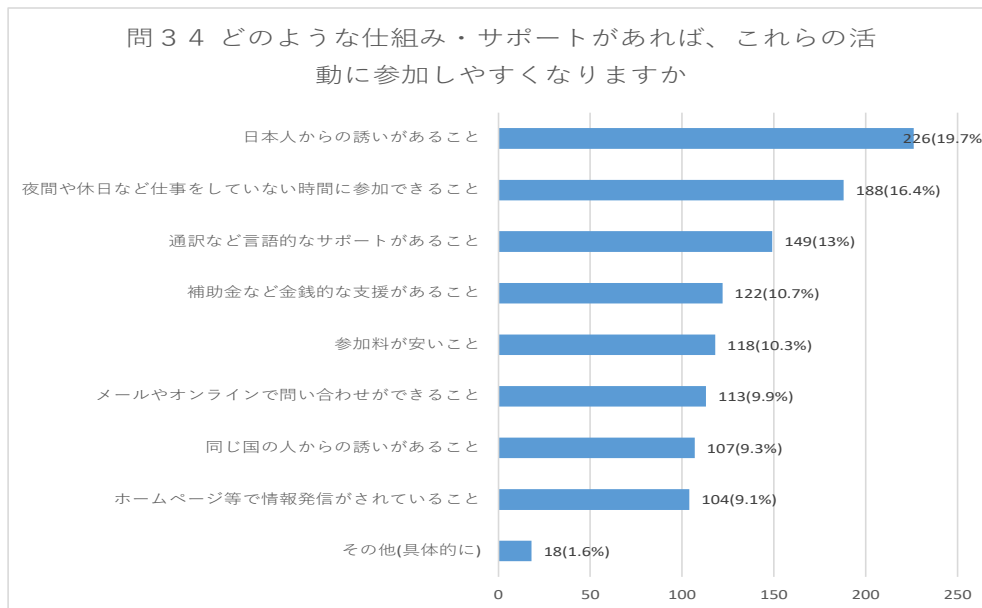


⑪地域活動について

参加したい地域活動について、「日本に来たばかりの外国人の支援」が10.3%、「言語をおしえる」が10.1%、「外国につながる子どもの支援」が7.1%、「翻訳・通訳」が7.0%、「地域のイベントの企画・運営」が7.0%でした。

また、どのようなサポートがあれば、参加しやすくなるかについては、「日本人からの誘いがあること」が19.7%、「休日など仕事がない時間に参加できること」が16.4%、「通訳など言語的なサポート」が13.0%でした。

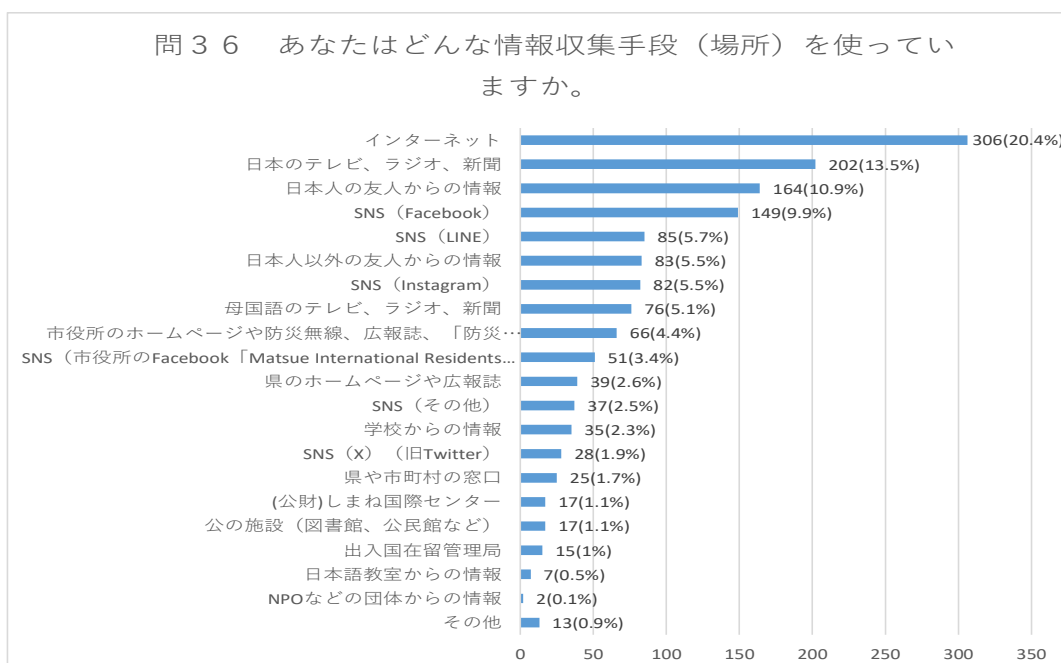
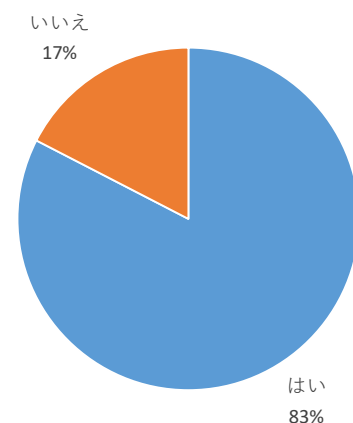




⑫情報の取得について

生活に必要な情報が取得できるかについて、「取得できる」が82.6%でした。また、情報収集の手段としては、「インターネット」が20.4%、「日本のテレビ、ラジオ、新聞」が13.5%、「日本人の友人からの情報」が10.9%、「SNS(Facebook)」9.9%、「SNS (LINE)」が5.7%でした。

問35 あなたは生活に必要な情報を簡単に得ることができますか。



⑬行政サービスに望むことについて

「情報の多言語化」が19.6%、「日本での生活習慣を学ぶ機会を増やしてほしい」が13.1%、「窓口通訳を増やしてほしい」が12.6%、「困ったことを相談できる窓口を増やしてほしい」が11.2%でした。

